

なすび

第 50号

目次

- 1p 特集☆寮紹介
- 2p 行事報告
- 3p 部活動報告
- 4p 部活動報告、今後の予定、編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800

TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886

メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp

発行日 令和7年11月28日

☆ 特集 ☆

学園も夏の暑さを乗り越え、秋冷の候：、耐え忍ぶ冬に近づいて参りました。さて冬に備え、鮮やかな紅葉のような豊かな寮の紹介になります。

○男子一寮紹介

白井 聡

男子一寮は中学生五名が生活しています。みんな人間関係の築き方が苦手であり、入園前は多くのトラブルがあったようです。それは、ほとんどの生徒が自分の思い通りにならないことでイライラし、行動化を強めることでストレスを発散していたからです。そのため、一寮では周りの人に迷惑をかけることに意識を持たせ、生活をするようにしました。すると、うまくいかないことがあっても八つ当たり行動や他人を煽る行動がなくなりました。彼らは自分を変えるためにがんばっていますので、引き続き、安心して暮らせる寮をみんなで作っていききたいと思



います。私ごとですが、寮の生徒には笑ってほしいという思いから、ギャグを言うことがあります。私が若かった頃、面白かったであろう言葉を自信満々に口にしますが、「・・・??」という反応が返ってきます。これが親父ギャグなんだと思い、ショックを受けております。寮運営はいろんなところに気を配るのでたいへんです。

○男子二寮紹介

小鍋 良和

昨年度に引き続き男子第二寮長をしております小鍋と申します。同寮での寮長も三年目となり、児童、職員含めて寮内最古参となり、自分の色を出しやすくなった印象があります。また、力のあるチームの仲間を支えてもらいながら、日々児童の成長を見守っている状況です。今年度の男子第二寮は、昨年度末にそれまで生活していた児童全員が退園し、その後すぐに二名の児童を迎え入れたところからのスタートでした。その後は続々と新入生を迎え入れ、現在児童五名、職員七名の顔ぶれとなっています。学園での生活歴が短い児童が多い寮であり、学園としての基礎基本の定着がままならず、職員がその都度、手取り足取り教えている毎日ですが、児童らは皆、将来の自分のためにと、日々精進しています。フレッシュさが良い方向に向かっていく寮の雰囲気があるため、更なる児童の成長に期待しつつ、『熱い思いを胸に秘め、心身ともにグレートな男になれ！熱男！』このフレーズをスローガンに掲げ日々過ごしています。

○女子寮紹介

島野 紘子

こんにちは、女子寮長の島野です。「女子寮はアットホームな元気で明るいニコニコ笑顔の寮です！」と、自信を持って言いたいところですが、今年度から寮長が島野に代わりまして、多方面に迷惑をかけることばかりで、寮が荒れる時期があったりなんなりして、少し大変な寮というのが実際のところなんです。子どもたちにも安心安全を提供できず、申し訳なさでいっぱいの日がほとんどでした。そんな日もあります。今年度の女子寮職員は、絶滅危惧種の教護職人、一路到白頭を背中で語る大先輩、謙虚な姿勢と癒やしのお手本、学園一のスター選手、次世代のエース、心理士視点を持つ若き才女がそろっておりまして、多彩で手厚い支援と、様々な角度から子どもたちに良い影響をあたえながら寮を立て直しています。そんな女子寮で、現在六名のこどもたちは、自分の課題に向き合いながら一歩ずつ少しずつ前に進んでいます。とても心の優しい子たちです。私はひとむれ第七集の「理で導くよりも暖かくやさしく深い情」日々の幾多の雑用を着実にこなすことこそ最大の教育」という言葉を大切にしています。地道にコツコツと、あきらめずに、アットホームで温かな女子寮を目指していきたいと思

☆行事報告☆

今年度も学園の夏はたくさんさんの行事がありました。こどもたちも行事をとおして成長していることでしょう。

☆沢地区夏祭り会

八月二三日

八月二三日、沢地区の方々と合同で夏祭りを開催しました。地域の小川で鮎のつかみ取りをして、それを学園に持ち帰り地域の達人が塩焼きにしてくれました。地域の皆様と協働して露店をつくり、流しそうめん、焼きそば、フランクフルト、かき氷、ヨーヨー釣り、を地域のこども達、学園の児童、そして大人も一緒になって夏祭りを楽しみました。こども達は各露店からの香りに鼻をくすぐられ、ワクワクしながら目の色を変えて露店を巡り存分にお腹を膨らませていました。後半には水鉄砲での銃撃戦やスイカ割りも大いに盛り上がり、割ったスイカをデザートとして全員で食べました。最初から最後まで盛り沢山の活動となり、まさにこども達の五感を刺激する行事であったと感じます。沢地区の皆様ありがとうございました。

☆海浜宿泊学習

七月一七日～一八日

七月一七日から一八日にかけて、茨城県にあるとちぎ海浜自然の家にて宿泊学習を実施しました。まずは、地図を参考にし、探検しながら仲間と協力し、チェックポイントを探すオリエンテーリングを行いました。それぞれが自分の良さを十分に発揮し、上手に役割分担をすることで、どの班も笑顔でゴールすることができました。また、アスレチックや砂浜散策では、節度を持った行動をとる中で、砂の感触や波打ち際で貝殻拾いを楽しみ、さらに夜は、花火を通して絆を深めました。次の日は、水族館でイルカのショーで水を浴びたり、買い物活動で、ニコニコしながらアイスを食べたりする姿が印象的でした。時には我慢もする中で、公共の場でのマナーや協調性を意識して過ごすことができました。梅雨も明け、夏の始まりとともに、こどもたちの成長を感じられた活動でした。



☆学園祭

九月一八日

地域の方、前籍校や児相の方々等一〇〇名以上をお迎えして、毎年恒例の那須学園学園祭を実施しました。今年もラーメン、たこ焼き、パンケーキ、ドリンク、ゲームコーナーの模擬店を出店し楽しんでいただきました。こどもたちにとって接客は初体験。緊張した面持ちで接待しながらも大きな声で対応し、普段見ることのできないこどもたちの表情が印象的でした。学園祭に向けて事前準備をしっかりとって、当日お客さんに喜んでもらい温かな声をかけていただき自信に繋がったようで、全て片付けが終わった時に達成感から皆とても良い表情でした。



☆部活動報告☆

学園の部活動も大盛り上がりです。少数精鋭でがんばります！

☆野球部

六月三〇日、関東少年野球大会に参加してきました。今年度は野球部児童数が五人のため職員との合同チームで試合に臨みました。良い雰囲気です。

日々の練習の成果を発揮することができました。大会では負けて悔しい思いをしましたが、野球部を通して初心者集団でも「無我夢中」で取り組み野球を覚えられること、諦めないで最後までやりきる事の大切さ、野球の楽しさ等多くの事を学べ、大会後参加児童は皆清々しい表情でした。



☆男子水泳部

男子水泳部は七月から始まりました。水泳が初めての児童が多かったため、初めはとにかく基礎練習。自由型の二五メートルを泳げず、何度も立ってしまい、気持ちで負けてしまう児童も多かったです。気持ちの面を強くするため、今年はとにかく長い距離を泳ぎ込み、自分自身を追い込む練習をしていきました。その成果もあり、一日合計で三キロメートル泳ぐことが出来るようになった児童もいました。

迎えた大会当日。大会が栃木県開催ということもあり、気持ちは最高潮に。大会で競技を終え、悔しくて泣いてしまう児童や嬉しくてガッツポーズをする児童もいました。大会では多くの児童が自己ベストを出すことができ、満足そうな笑顔や自信に満ちあふれた顔つきが、今でも印象に残っています。

☆女子水泳部

「自分に勝つ」という目標を持ち、六月から日々練習に励みました。泳げない子や水泳が好きではない子が大半でしたが、それぞれのレベルに合わせた練習を頑張りました。中には自主的に練習し始める子もいて、前向きな雰囲気を作ってくれました。

八月二一日の関東少年水泳大会では、大きな会場で一生懸命泳ぎ、自己ベストに挑戦しました。結果は

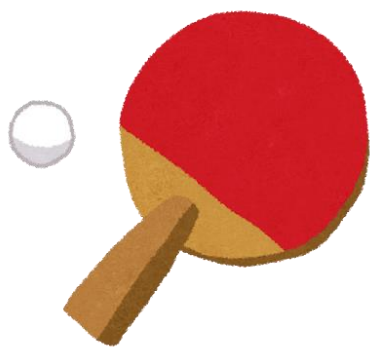
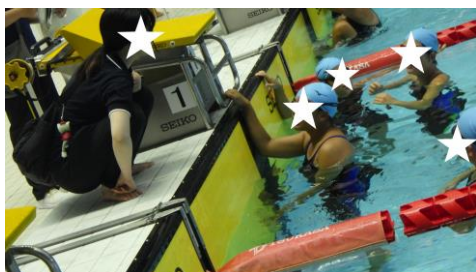
それぞれでしたが、全員最後まで泳ぎ切り、互いに応援し合って、よく頑張ったと思います。こどもたちは、準優勝という結果に悔しさと嬉しさが半々のようなでしたが、何よりもご家族や支えてくださったっている方々からの応援が、本当に嬉しかったようです。この経験を糧に、また一緒に頑張っていきます。

☆バレーボール部

女子寮の部活動は、シーズン毎に部活動が変わり全員同じ部活動に所属します。そのため、今年は水泳大会が終わった八月二六日からバレーボール部が再始動しました。春から部員も増えて現在五名になりました。後半の活動ではチーム練習に時間を割き活動をしたと考えていたところでしたが、九月上旬に怪我をした部員が二名も出てしまい、三名での個別練習が中心となりました。加えて、練習態度について注意を受ける部員もあり、部活動としてチームとして成り立っていくのか不安な状況もありました。一〇月に入りようやくチーム練習を始めることができました。当初はうまくボールが繋がらず、声が出なくなってしまうような様子がありました。徐々にコート上で声を出し合う姿が見られるようになってきました。これから大会まで練習試合の予定も組んでおり、チームメートの声を聞いて動くことや互いに励ましながらかプレーすることが出来るようになってほしいと願っているところです。部員全員での大会出場を目指し、大会が終わった後に一人ひとりに少しでも得るものがあるよう練習に励んでいきます。

☆卓球部

今年度も卓球部がスタートしました。昨年度の力のあったメンバーが全員退園してしまい、昨年度の卓球部を経験した児童一名も数日しか活動していないため、ほぼ全員が初めての卓球という状況で活動が始まりました。私自身卓球部の監督が初めてで、試行錯誤しながら活動をしています。今年度の児童は例年にも増して不器用な児童が多いため、基礎基本の練習を地道に積み上げていく必要があります。今年度の卓球部は、「思いやり」「力のコントロール」「様々なことに意識を向ける」という三つを柱として卓球だけでなく、日々の生活に必要なスキルを身に付けられるようやっていきたいと思います。応援よろしくお願いします。



☆吹奏楽部

吹奏楽部がスタートして四ヶ月がたちました。始めは楽器の組み立て、片付けもおぼつかなく、一つ一つ確認して、目が離せないことばかりでした。しかし、練習を重ねるにつれて徐々にできることが増えて、音が出る感動からはじまり、音階ができる、楽譜を演奏できる、曲ができる、という段階になりました。

新曲に取り組む中で、難しい音に苦戦したり、分かりにくいリズムに何度も取り組んで首をかしげたり、こどもたちも真剣に頑張っているので、職員も一生懸命練習し、助言しています。

まだまだ課題はたくさんありますが、各パートについている職員や分校の先生方の支えがあつてここまで来ています。文化祭の発表まであと二ヶ月、伸びしろがいっぱいのこどもたちと感動をつくれるよう練習を続けています。



〈那須学園の自慢〉

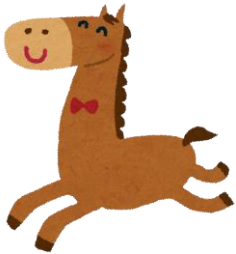
今年度も秋晴れの中、稲刈りが行われました。学園一丸となり土台作りから落ち穂拾いまでしました。こどもたちは稲を見て「これがお米なんですね!」と食卓に並ぶ温かいご飯を想像したのか目をキラキラしながら穂を見つめていました。

学園には柿や栗、柘榴、胡桃、栃の実があり今年も豊富な実りになっています。休日になると柿や栗を拾いながら秋を感じています。木登りに挑戦しながら学園の自然を楽しく感じているのをみると入所した時とくらべ豊かになっているなど感じます。



〈行事予定〉

- | | |
|-------|---------|
| 二月十二日 | 関東少年文化祭 |
| 二月十四日 | 収穫感謝祭 |
| 二月二二日 | 卓球大会 |
| 二月二二日 | クリスマス会 |
| 一月二六日 | スキー教室① |
| 二三日 | スキー教室② |
| 二月六日 | マラソン大会 |



編集後記

今年度も半年を終え、残りも半年となりました。夏までは長いと感じつつ、こどもたちと関わっています。夏が終わり秋を迎えると気づけば冬に入り年度末に…。今回なすびを編集しながら学園は行事が盛りだくさんでその行事、部活動事を変えると共に学園がまとまり一歩ずつ前に進んでいるなど感じました。

こどもたちはそれぞれ入所理由は異なりますが、目標は皆同じ。そのために残りの月日も背中を押して行けたらと思います。今後もご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

育成課

関 大森 越沼